

須恵町社会教育行事に関する提言書が提出されました

3月31日(月)、須恵町社会教育委員会(高月 千春代表 他11人)から、本町の社会教育行事に関する提言書が教育委員会へ提出されました。

近年、行事参加者の減少や固定化が見られることから、令和3年度より行事負担軽減の解決策を検証してきました。スポーツ行事を対象に参加者・分館アンケートを実施し、分析した結果、社会教育行事が地域づくりに重要な役割を果たしていることが判明しました。そのため、社会教育委員会から、今後は町民にとって、より参加しやすく楽しめる社会教育行事になるよう、改善や修正を要望されました。

～社会教育委員からのコメント～

高月代表

「社会教育行事がまちづくりに大切な役割を担っていることを再認識し、地域の皆さんの貢献を知ることができました。」

貝原副代表

「社会教育行事は、公民館活動にとって大切なものです。より充実・活性化し、まちづくりの「核」になってほしいと思います。」

猪股教育長

「社会教育行事は町民にとって大切なものです。課題を解決し、より充実した大会運営ができるよう今回の提言を社会教育団体と共有したいと思います。」

～社会教育委員とは～

社会教育に関する計画の立案や調査研究など、教育委員会への社会教育に関する助言を行う役割を担っています。委員は、社会教育や家庭教育、学校教育などの関係者、学識経験者で構成されています。



社会教育委員会 貝原副代表(左)、高月代表(中央)、猪股教育長(右)



令和6年度 社会教育委員の皆さん

つつじdeナイト 商工つつじまつりin須恵

4月26日(土)、つつじdeナイト 商工つつじまつりin須恵(須恵町商工会主催)が、健康広場で開催されました。

今年は天気にも恵まれ、晴天の中、ステージでのさまざまなパフォーマンスや大抽選会、飲食店などの多くの店が出店し、町内外から多くの人を訪れました。また会場内では、毎年大好評のつつじの苗の配布が行われ、長い行列ができていました。

今年から開催時間が変更され、夜ならではのシャボン玉パフォーマンスが行われるなど、多くの来場者を魅了しました。



須恵東中学校太鼓部のパフォーマンス



シャボン玉パフォーマンスの様子

トイレトレーラーが帰還しました

3月21日(金)、能登半島地震の支援のため、被災地である石川県輪島市に派遣していた須恵町のトイレトレーラーが帰還しました。

能登半島地震発災後、断水や浄化槽の破損などで普段通りにトイレが使用できない中、令和6年1月12日(金)に派遣先である石川県輪島市立東陽中学校に須恵町のトイレトレーラーを設置し、被災者支援に貢献しました。約150人の住民やボランティアの皆さんが利用し、「劣悪だったトイレの環境が、トイレトレーラーの到着によって劇的に改善されました」「ありがとう」「助かりました」などの感謝の言葉をいただきました。



被災地で設置されたトイレトレーラー



帰還したトイレトレーラーと運搬に尽力した職員たち

未来を担う子どもたちへ

須恵町青少年アンビシャス応援団より、須恵町の子どもたちの「志や夢」を応援するため、町内の小中学校に合計150万円の寄付をいただきました。3月24日(月)にアンビシャス応援団の活動報告会が実施され、町から感謝状を贈呈しました。いただいた寄付金は、教育環境の充実と児童生徒の学びを目的に、各学校の図書購入費に活用します。

この寄付は、これまでも継続していただいているもので、報告会ではアンビシャス応援団に対する小中学校児童生徒からの感謝の手紙も披露されました。

須恵町青少年アンビシャス応援団とは

須恵町の企業有志で組織された青少年育成団体で、まなびば(小学生を対象とした無料塾)や夢ひろば(小中学校へのゲストティーチャーの派遣)、須恵高校との連携による駅前花壇整備や地域の独居高齢者との交流など、さまざまな活動を行なっています。

須恵町青少年アンビシャス応援団メンバー(敬称略、順不同)

株式会社ピーエムティー、ナサ工業株式会社、ベルテクネ株式会社、株式会社若杉建設、ケイエルテック株式会社、丸山法務総合事務所、株式会社博運社、株式会社西部製作所、シーエススチール株式会社、久野印刷株式会社、株式会社中村アルミ建材、安河内建設株式会社、有限会社南部環境保全、株式会社アステック、株式会社ケーメック

須恵町青少年アンビシャス応援団は、共に須恵町の子どもたちの育成にご支援いただける企業を募集しています。詳細はホームページをご覧ください。



アンビシャス応援団メンバーと平松町長(中央)



児童生徒からの感謝の手紙

須恵町アンビシャス応援団ホームページはこちら

